

提言にあたっての検討事項について

これまでにいただいたご意見および松葉地区の課題と可能性を踏まえ起案した「提言にあたっての基本方針と主な検討事項(案)」を基に検討事項を整理しましたので、皆様のご意見をお聞かせください。

1. いただいた主なご意見

(資料) アンケート結果 (Q20・Q21)

(資料) 龍ヶ崎市・北竜台市街地・松葉地区の人口推移 (P1～P3)

(資料) 松葉6丁目からの要望・説明

(資料) 松葉小PTAからの提言

(資料) 自主防災連絡会・高齢者支援会議からの要望

2. 提言にあたっての基本方針(案)

松葉地区の課題と可能性を踏まえ跡地活用を検討し、松葉地区が“住みたくなるまち”“住み続けたいまち”となるための跡地・コミセン活用などのハード面の取組みとあわせ生活・福祉・子育て・防災などのソフト面の取組みを提言します。

a) 現役世代・子育て世代など、若い人達が“住みたくなるまち”となるための提言

- ・跡地を活用した優良な“住まい”や“生活環境”の提供について
- ・子育て世代を対象とした“子育て支援”の充実について
- ・子供達を対象とした“学びと遊びの機会”の充実について

b) 私達が“住み続けたいまち”となるための提言

- ・住民の活動拠点化のための“コミセン”拡充について
- ・生活・福祉・子育て・防災などの支援拠点化のための“コミセン”拡充について

注) 次項以下の検討事項は、一般的な事例を参考にまとめたもので、検討事項の主な事項を(概要)として、関連する事項を(補足)として記述しています。

また、検討事項には長山地区と連携し相乗効果を図るべき内容も含まれています。

3. 検討事項

a) 現役世代・子育て世代など、若い人達が“住みたくなるまち”となるための提言

① 跡地活用用地を活用した優良な“住まい”や“生活環境”の提供について

検討事項 ① 現役・子育て世代の移住の受皿となる“魅力的な”住宅の提供(販売)

(概要) ・緑や共用スペースを配し自由設計の“子育て世帯向け住宅”を提供(販売)する

(補足) ・短期的には現役・子育て世代の移住が期待できるが、継続して受入れるには、提供(販売)できる住宅が不足することが予想される

検討事項 ② 現役・子育て世代の移住の受皿となる“魅力的な”賃貸住宅の提供

(概要) ・「敷地内に緑や共用スペースがある」「間取りや内装を選択できるオプション付き」「専用庭のあるメゾネットタイプ」など、ニーズにあわせた“子育て世帯向け賃貸住宅”を提供する

(補足) ・現役・子育て世代の移住を継続して受入れるために、移住時の優遇策や子育て支援とあわせ、松葉・長山地区の既存住宅の家財整理や賃貸・売却の相談と事業者紹介などの支援に取組み住宅(販売・賃貸)を提供し、住替え促進を図ることも不可欠となる

検討事項 ③ まちの“魅力”となる施設の開設

(概要) ・“子育て世帯向け賃貸住宅”とあわせて、現役・子育て世帯と高齢者世帯の支援を中心とした“総合施設”を専門機関や事業者と連携し開設する

【現役・子育て世帯向け】

- ・妊活・出産・産後・子育ての相談窓口と事業者紹介
- ・小・中学生を対象とした学びと遊びの機会提供
- ・移住・住替えの相談窓口と事業者紹介
- ・女性のキャリアアップのための学びの機会提供

【高齢者世帯向け】

- ・医療・介護・福祉などの相談窓口と事業者紹介
- ・既存住宅の家財整理や賃貸・販売の相談窓口と事業者紹介

【全世帯共通】

- ・住民活動・交流活動・災害時支援のためのスペース提供

(概要) ・跡地活用用地に“現役・子育て世帯向け賃貸住宅”と“学びと遊びの機会”のスペースを、コミセン用地に他のスペースを提供し、一体化を図る

②子育て世代を対象とした“子育て支援”の充実について

検討事項 ① 妊活・出産・産後・子育ての支援

(概要) ・医療などの専門機関と連携し、妊活・出産・産後・子育ての相談窓口を設け事業者などを紹介し支援する

検討事項 ② 放課後・土日祭・休業期間などの幼児・小・中・高生の居場所の提供

(概要) ・事業者などと連携し、“学びと遊び”の場を午前7時から午後7時まで提供し、急病時にも対応する

(補足) ・小学校を活用した「児童クラブ」「放課後子ども教室」の取組み事例(別紙参照)
・他に、学校外施設を利用した児童館(小・中・高生対象)の取組み事例

③子供達を対象とした“学びと遊びの機会”の充実について

検討事項 ① 体験と専門的指導を受ける機会の提供

(概要) ・事業者などと連携し、小・中学生を対象とした居場所を提供するための学習・運動・イベント・飲食スペースとあわせて、ICT・カルチャー・スポーツ・教科(英語・数学など)の体験と専門的指導を受ける機会を提供する

(補足) ・北竜台学園などの地区内施設とあわせ、たつのこアリーナなどの地区外施設も送迎し活用する

検討事項 ② 教育環境の整備と充実

(概要) ・教職員の働き方改革や専門的教員の採用などによる教育環境の整備と指導の質・量を充実させる

(補足) ・教育環境の整備と充実の取組み事例について(別紙参照)
・教職員の語学研修による成果の事例

R4 英検3級以上の中学生:福井 84.7%←茨城 52.4%←平均 49.2%→鳥取 13.5%

●GIGA とは「Global and Innovation Gateway for All」の略語で、GIGA スクール構想とは、文部科学省が推進する ICT 教育に関する取り組みのことで、全ての児童が最新の情報通信技術(ICT)を活用するための学習環境を整備する内容となっています。

●ICT とは、「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略で、コンピュータやネットワークを使って情報を保存・処理し、人やモノの間で通信・共有するための技術や仕組み全体を指す用語です。

b)私達が“住み続けたいまち”となるために

①住民の活動拠点とするための“コミセン”拡充について

※別紙「松葉コミュニティセンターを核とした活動拠点の拡充」参照

検討事項 ① コミセンを整備し住民活動の拠点化

(概要) 住民活動・交流活動と各種相談窓口と事業者紹介のための主な整備として

- ・1階に、200名規模の会議・イベントが開催できるスペースと厨房室を配置
- ・大きさ・利用団体数の調整がし易いように、スペースを可動壁で間仕切る
- ・屋外イベントスペースとして活用できるよう、屋内スペースと公園を連結させる
- ・ダンス・コーラス・演奏などで利用できるよう、防音などの専用スペースを設ける
- ・授乳など、乳児のケアができる個室を設ける
- ・車椅子・ベビーカーの乗入れができるよう、館内もバリアフリー化する
- ・音響・録音・撮影・投影などの機材を常備する
- ・夜間利用と周辺住居に配慮し周辺・通路の照明は庭園灯とする

②生活・福祉・子育て・防災などの支援拠点とするための“コミセン”拡充について

※別紙「松葉コミュニティセンターの地区防災拠点化」参照

検討事項 ① コミセンの支援拠点化

(概要) ・生活・福祉・子育てや女性のキャリアアップなどの相談窓口や相談会や交流会などのイベントを定期的に開催し事業者紹介などの支援をおこなう専用スペースを設ける

- ・既存住宅の家財整理・賃貸・売却と移住・住替えの相談窓口や相談会などのイベントを定期的に開催し事業者紹介などの支援をおこなう専用スペースを設ける
- ・医療・介護・福祉などの相談窓口と相談会などのイベントを定期的に開催し事業者紹介などの支援をおこなう専用スペースを設ける
- ・福祉避難所や在宅避難者の支援拠点とするため、館内照明やトイレなどは日常的にソーラや地下水を利用し、衛生管理や体調管理などのための設備なども設ける
- ・福祉避難所として医療・介護・福祉などの公的支援を日常的に受けている配慮世帯の受入(50世帯100名程度、1000㎡の専用スペース)を想定し、ベッド・3日～5日分の飲料水・食料と日用品・衛生用品などをコミセン敷地内に備蓄する

(補足) ・コミセンの拡充・支援拠点化は、当面の旧小学校校舎等の活用を通して、その実績に基づき計画・整備する

c)その他、跡地活用にあたって要望

跡地を活用するにあたっての条件として、以下を要望します。

要望 ① 跡地を周回する“木陰のある遊歩道”を設けること

「緑に囲まれた住宅街」の環境維持を目的として、既存の市道に加え県道側に市道と街路樹を整備し、跡地を周回する“木陰のある遊歩道”(MAP上の)を設けることを要望します。



要望 ② 数値目標を設け継続し取り組むこと

跡地活用などの整備で終わることではなく、「松葉・長山地区の現役世代・子育て世代(25歳～54歳)の人口構成比30%台」を目標として検証・改善し、継続的に取り組むことを要望します。

年代別人口(2026.04現在)

年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	世帯
松葉1	16	29	23	27	42	34	36	33	44	65	69	38	31	35	61	153	117	50	11	2	1	917	464
松葉2	1	10	9	22	36	18	5	6	6	11	43	65	49	30	13	7	4	4	3	0	0	342	133
松葉3	5	14	9	16	17	8	7	12	24	33	36	27	21	19	49	109	63	27	6	2	1	505	247
松葉4	7	6	8	10	5	7	10	11	11	23	18	18	15	21	45	81	43	8	3	1	1	352	169
松葉5	6	11	20	13	19	12	17	23	32	27	38	32	26	36	50	85	59	12	11	3	0	532	258
松葉6	6	10	13	25	10	13	7	19	29	25	37	29	40	67	117	88	50	16	7	2	0	610	291
小柴1	1	5	4	2	4	3	2	7	0	7	4	5	5	6	1	2	2	0	0	1	0	61	28
小柴4	19	30	41	55	117	59	43	37	54	80	78	68	63	104	132	127	59	28	15	3	0	1212	670
松葉計	61	115	127	170	250	154	127	148	200	271	323	282	250	318	468	652	397	145	56	14	3	4,531	2,260
	1.3%	2.5%	2.8%	3.8%	5.5%	3.4%	2.8%	3.3%	4.4%	6.0%	7.1%	6.2%	5.5%	7.0%	10.3%	14.4%	8.8%	3.2%	1.2%	0.3%	0.1%	100.0%	
構成比	16.0%					27.0%						11.7%		45.3%								100.0%	

松葉6会計	41	80	82	113	129	92	82	104	146	184	241	209	182	208	335	523	336	117	41	10	3	3,258	1,562
	1.3%	2.5%	2.5%	3.5%	4.0%	2.8%	2.5%	3.2%	4.5%	5.6%	7.4%	6.4%	5.6%	6.4%	10.3%	16.1%	10.3%	3.6%	1.3%	0.3%	0.1%	100.0%	
構成比	13.7%					26.1%						12.0%		48.3%								100.0%	

年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	世帯
長山計	95	155	225	251	179	148	153	179	275	314	356	273	250	324	473	516	231	104	50	13	3	4,567	2,083
	2.1%	3.4%	4.9%	5.5%	3.9%	3.2%	3.4%	3.9%	6.0%	6.9%	7.8%	6.0%	5.5%	7.1%	10.4%	11.3%	5.1%	2.3%	1.1%	0.3%	0.1%	100.0%	
構成比	19.8%					31.2%						11.5%		37.5%								100.0%	

年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	全年齢	世帯
松葉	61	115	127	170	250	154	127	148	200	271	323	282	250	318	468	652	397	145	56	14	3	4,531	2,260
長山	95	155	225	251	179	148	153	179	275	314	356	273	250	324	473	516	231	104	50	13	3	4,567	2,083
計	156	270	352	421	429	302	280	327	475	585	679	555	500	642	941	1,168	628	249	106	27	6	9,098	4,343
	1.7%	3.0%	3.9%	4.6%	4.7%	3.3%	3.1%	3.6%	5.2%	6.4%	7.5%	6.1%	5.5%	7.1%	10.3%	12.8%	6.9%	2.7%	1.2%	0.3%	0.1%	100.0%	
	17.9%					29.1%						11.6%		41.4%								100.0%	

年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	全年齢	世帯
北竜台	354	568	781	906	954	695	683	740	975	1,220	1,438	1,352	1,408	1,439	1,640	1,715	897	447	191	48	6	18,457	8,497
	1.9%	3.1%	4.2%	4.9%	5.2%	3.8%	3.7%	4.0%	5.3%	6.6%	7.8%	7.3%	7.6%	7.8%	8.9%	9.3%	4.9%	2.4%	1.0%	0.3%	0.0%	100.0%	
構成比	19.3%					31.2%						15.0%		34.6%								100.0%	

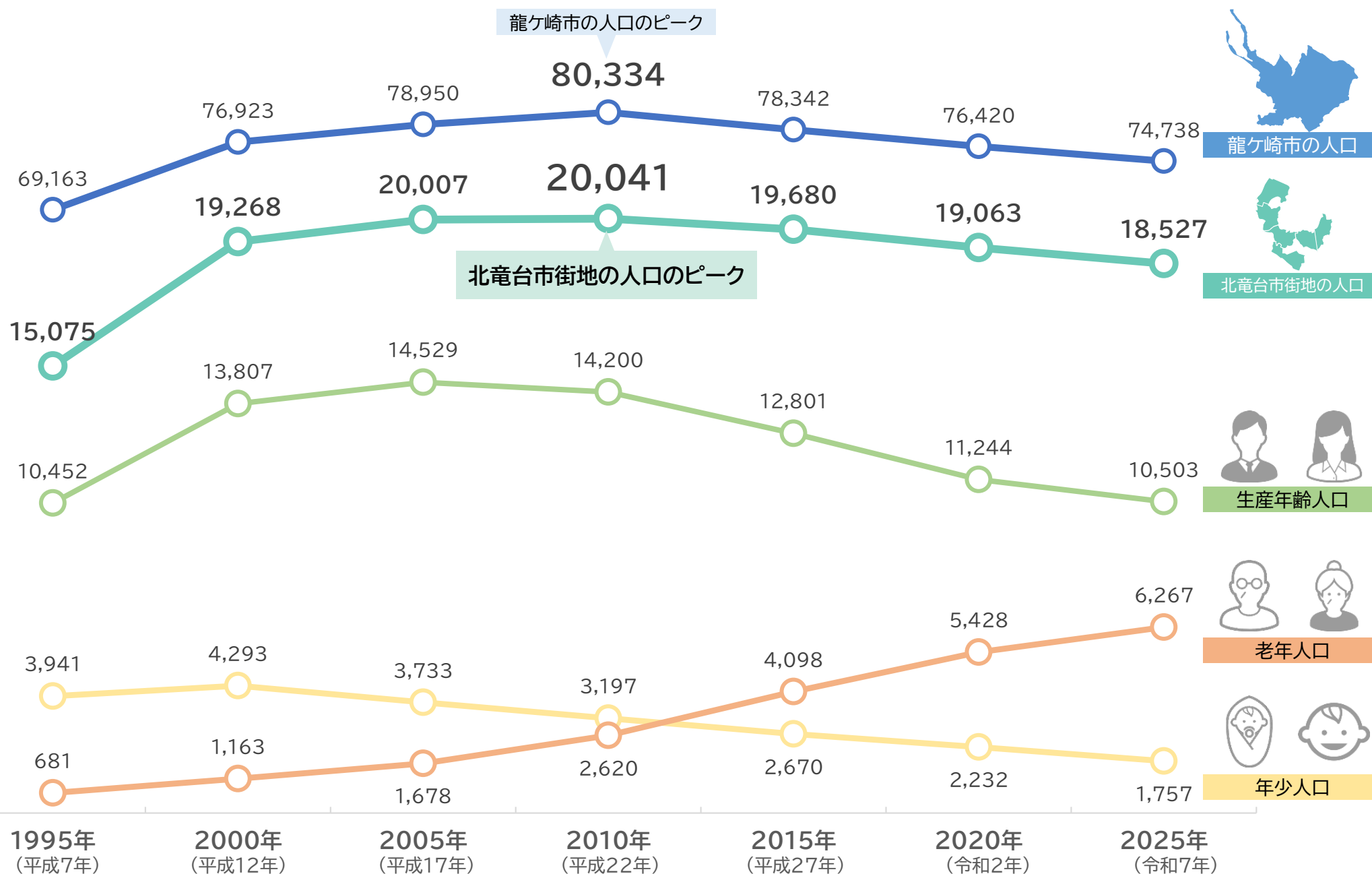
年齢	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	全年齢	世帯
市全域	1,572	2,291	2,871	3,497	4,042	3,562	3,393	3,524	4,035	4,896	6,093	5,523	5,058	4,944	5,412	6,010	3,799	2,187	1,025	308	45	74,087	36,427
	2.1%	3.1%	3.9%	4.7%	5.5%	4.8%	4.6%	4.8%	5.4%	6.6%	8.2%	7.5%	6.8%	6.7%	7.3%	8.1%	5.1%	3.0%	1.4%	0.4%	0.1%	100.0%	
構成比	19.3%					34.4%						14.3%		32.0%								100.0%	

龍ヶ崎市・北竜台市街地の人口推移

1

(出典:国勢調査)

※2025年(令和7年)は住民基本台帳人口

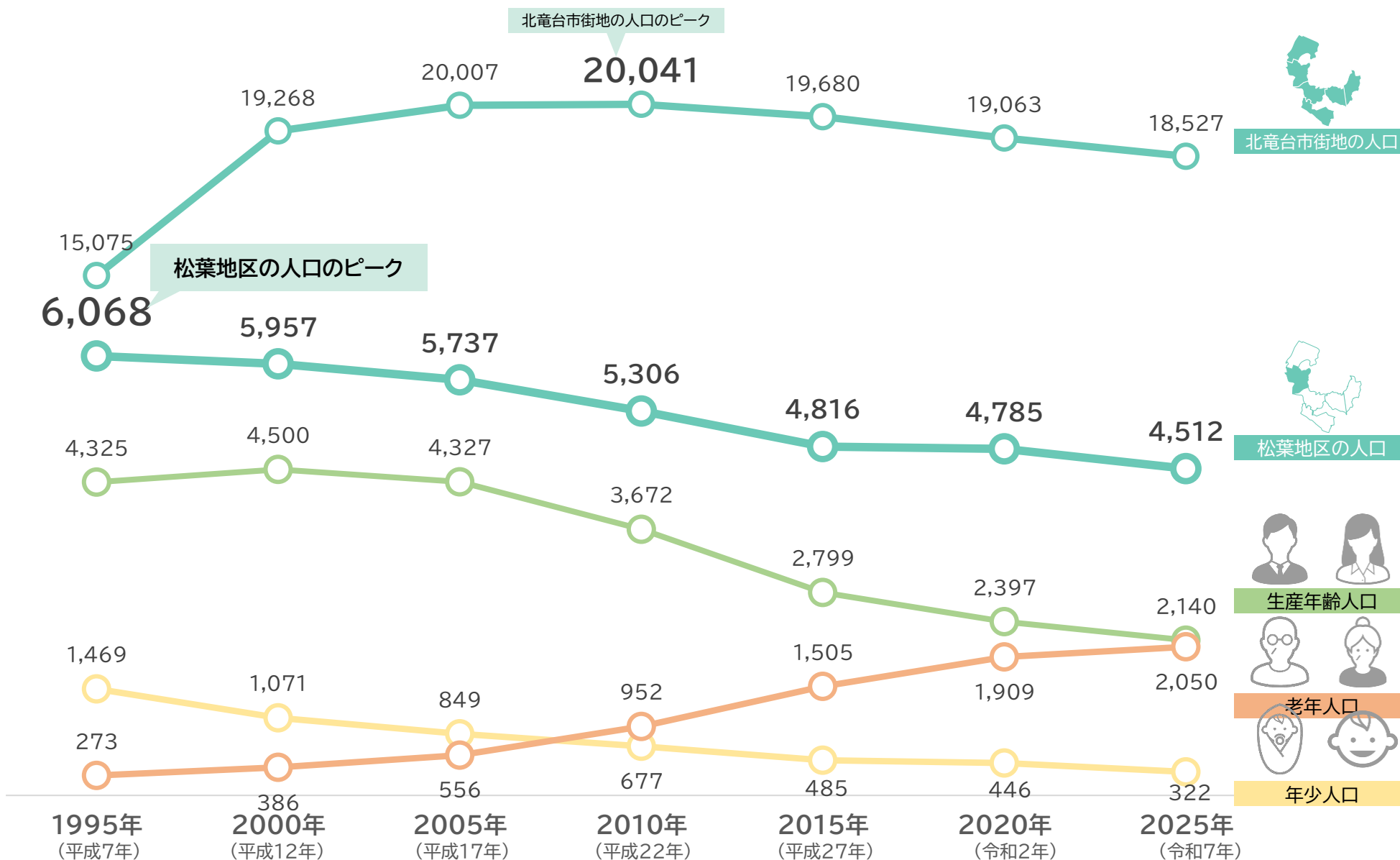


松葉地区（松葉1～6丁目及び小柴1・4丁目）の人口推移

2

（出典：国勢調査）

※2025年（令和7年）は住民基本台帳人口



松葉地区の人口推移比較

3

(出典:国勢調査、国総研(将来人口・世帯予測ツールV3))

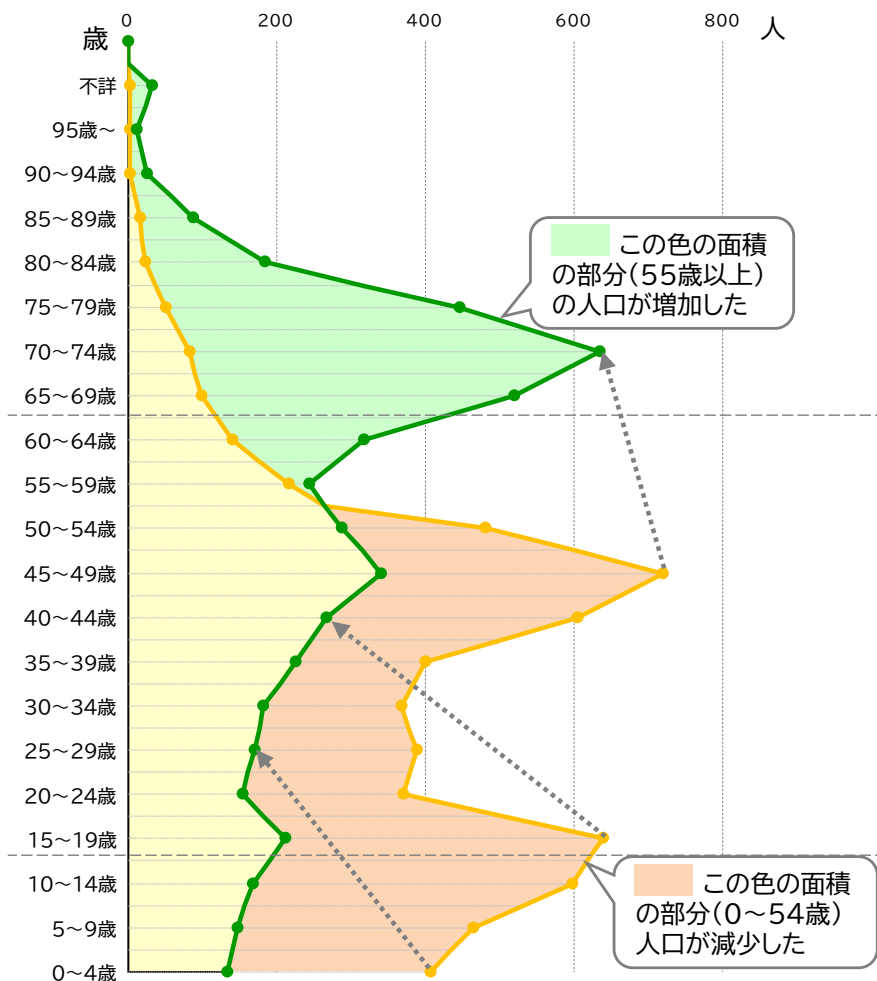
＼ 過去25年で ＼

減 1,283人(約21%減)

1995(H7)年と
2020(R2)年の比較

1995年
6,068 人

2020年
4,785 人



1995年の方が人口が多い年齢層 2020年の方が人口が多い年齢層
1995年の人口構成 2020年の人口構成

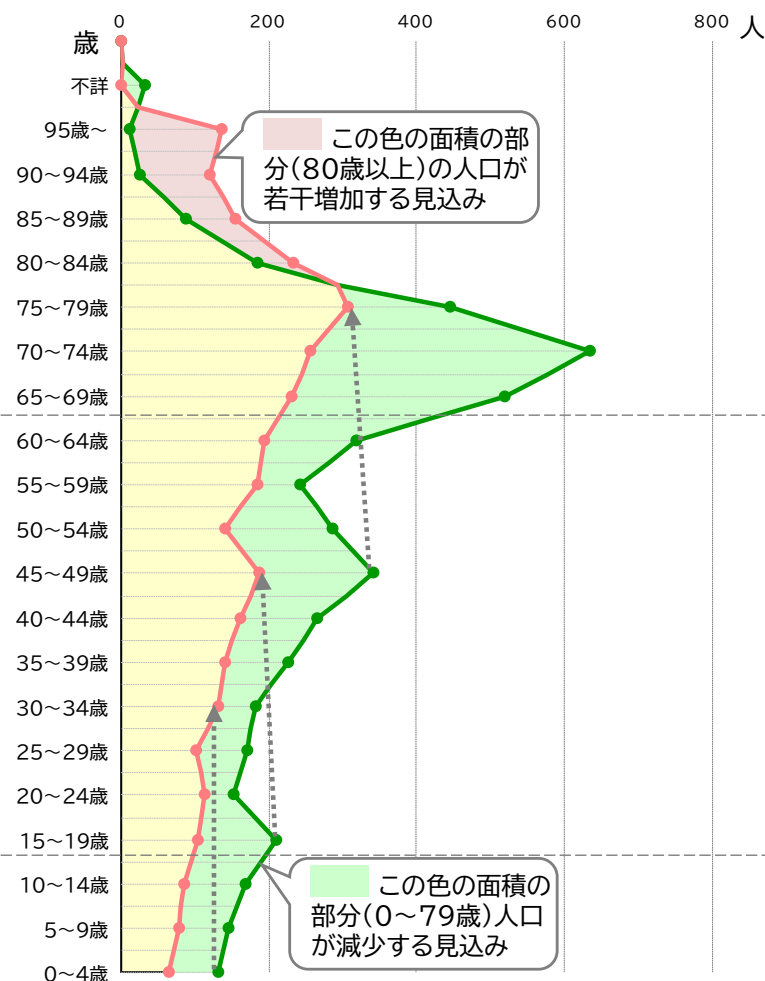
＼ この先30年で ＼

減 1,657人(約35%減)

2020(R2)年と
2050(R32)年の比較

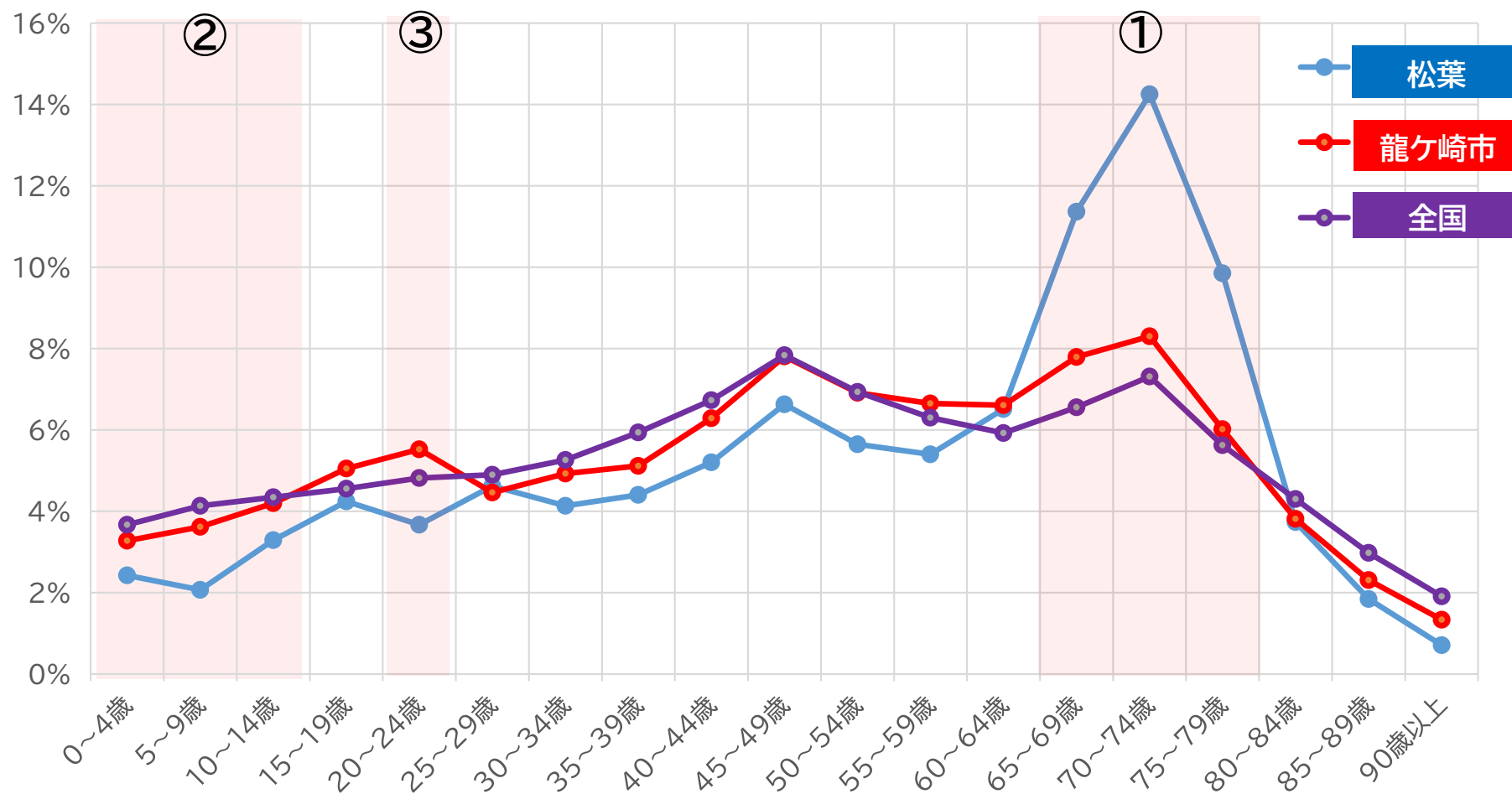
2020年
4,785 人

2050年
3,128 人



2020年の方が人口が多い年齢層 2050年の方が人口が多い年齢層
2020年の人口構成 2050年の人口構成

- ① 65歳～79歳の人口が全体の35%を占めている。(全国:19%)
- ② 0歳～14歳の人口が全体の7.7%と低い傾向にある(全国:12%、龍ヶ崎市:11%)
- ③ 20歳～24歳の人口が少なく、大学卒業後に転出する傾向がある。

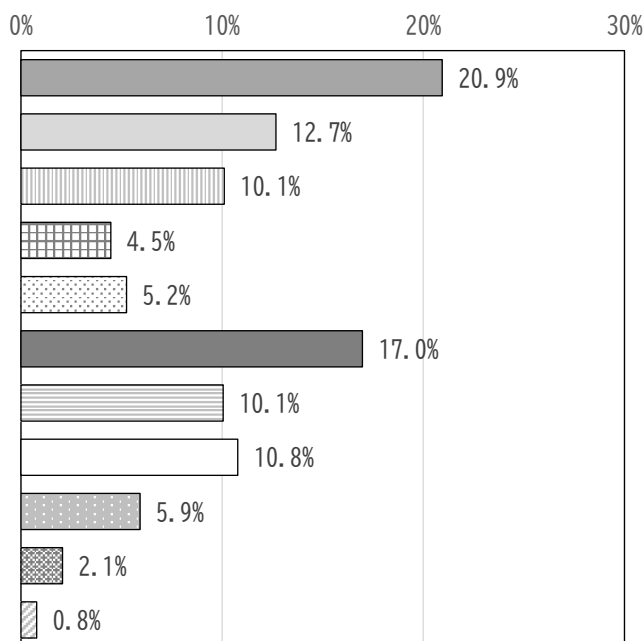


年齢構成比較(2020時点) ～松葉・龍ヶ崎市・全国～

Q20 市では松葉コミュニティセンター、松葉第三児童公園を一体で再整備し、松葉小学校跡地は民間活用も視野に入れた新たな活用方法を検討しています。再活用ゾーン（コミュニティセンター・公園）に求める機能を教えてください。（当てはまるものを最大3つまで選んでください）

【全体】

選択肢	回答者数 n=1,791
若者・子育て世代をはじめ、多世代が利用したくなるようなラウンジ	375
学習スペースや図書コーナー	227
高齢者の集いの場	181
可動間仕切り等により、様々な用途に対応できる大きめの会議室	80
軽運動・合唱・介護予防等を想定した遮音・鏡張りの部屋	94
非常発電設備を設置する等、防災機能や避難所環境の充実強化	304
夏祭りやイベント等で使える屋内外スペース	180
既存の樹木を活かした緑あふれる空間	193
キッチンカーの乗り入れ等も考慮した、遊歩道（通学路）の再整備	106
その他	37
（無回答）	14
合 計	1,791

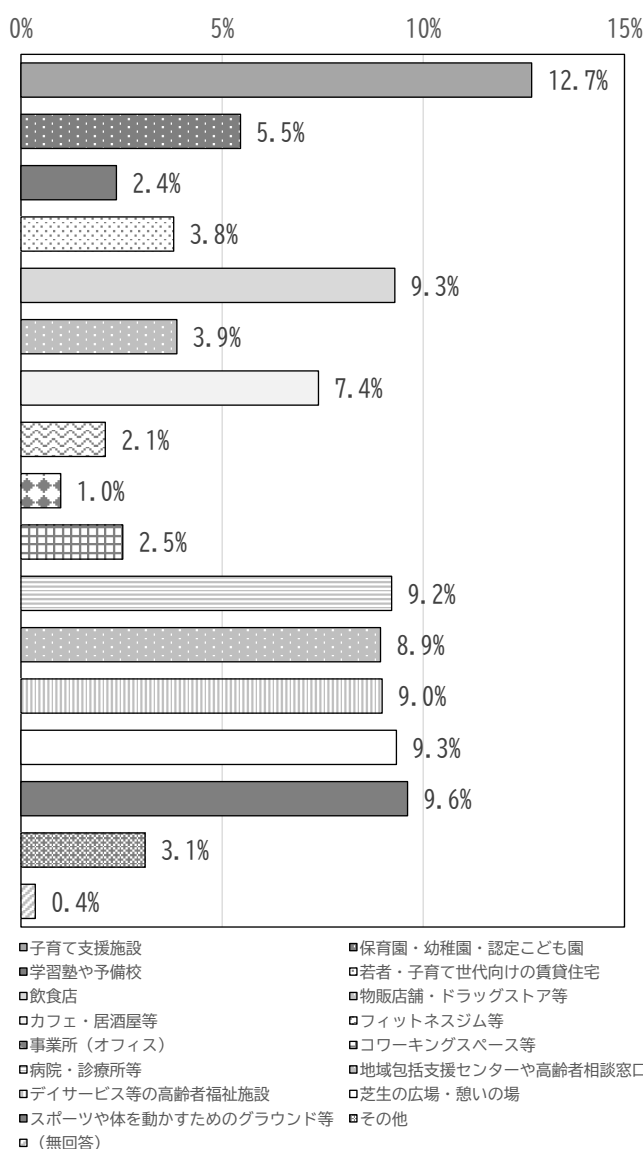


- 再活用ゾーン（コミュニティセンター・公園）に求めることとしては、「多世代が利用したくなるラウンジ」が20.9%で最も高く、次いで「防災機能や避難所環境の充実強化」が17.0%、「学習スペースや図書コーナー」が12.7%となっています。
- 北竜台グリーンハイツとパークハイムでは、「多世代が利用したくなるラウンジ」が他地区と比較して高くなっています。
- 松葉1丁目とパークハイムでは、「高齢者の集いの場」が他地区と比較して高くなっています。
- タウンハウス、県営北竜台アパート、パークハイムでは、「防災機能や避難所環境の充実強化」が他地区と比較して高くなっています。
- 松葉1丁目と県営北竜台アパートでは、「夏祭りやイベント等で使える屋内外スペース」が他地区と比較して高くなっています。
- 松葉5丁目と松葉6丁目では、「既存の樹木を活かした緑あふれる空間」が他地区と比較して高くなっています。
- 松葉2丁目では、「遊歩道の再整備」が10.4%で、他地区と比較して高くなっています。

Q21 続いて、新規活用ゾーンに求める機能を教えてください。（当てはまるものを最大5つまで選んでください）

【全体】

選択肢	回答者数 n=2,529
子育て支援施設（児童館、子育て相談・交流スペース等）	321
保育園・幼稚園・認定こども園	138
学習塾や予備校	60
若者・子育て世代向けの賃貸住宅	96
飲食店（レストラン・ファストフード店等）	235
物販店舗・ドラッグストア等	98
カフェ・居酒屋等	187
フィットネスジム等	53
事業所（オフィス）	25
コワーキングスペース・テレワーク拠点・シェアオフィス等	64
病院・診療所等	233
地域包括支援センターや高齢者相談窓口	226
デイサービス等の高齢者福祉施設	227
芝生の広場・憩いの場	236
スポーツや体を動かすためのグラウンド等	243
その他	78
（無回答）	9
合 計	2,529



- 新規活用ゾーン（松葉小学校跡地）に求めることとしては、「子育て支援施設」が12.7%で最も高く、次いで「スポーツや体を動かすためのグラウンド」が9.6%、「飲食店」が9.3%、「芝生の広場・憩いの場」が9.3%、「病院・診療所等」が9.2%となっています。
- 県営北竜台アパートでは、「学習塾や予備校」「フィットネスジム等」が8.7%と他地区と比較して高くなっています。
- 松葉2丁目とタウンハウスでは、「カフェ・居酒屋等」が他地区と比較して高くなっています。
- 松葉5丁目とパークハイムでは、「病院・診療所等」が他地区と比較して高くなっています。

令和 8 年(2026 年) 1 月 10 日

龍ヶ崎市総務部管財課御中

龍ヶ崎市松葉 6 丁目自治会
会長 金久 博忠

松葉小学校跡地活用に関する要望書

拝啓、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より地域活動の推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、当自治会区域内に所在する松葉小学校跡地につきまして、地域住民の安全、安心、
そして持続可能な地域づくりの観点から、下記の通り施設の再整備、及び再活用について
要望申し上げます。

【要望事項】

1. 傷害を持つ方や要支援者も利用できる施設の整備
 - ・バリアフリー化を徹底し、障害の有無にかかわらず誰もが利用できる環境づくりをお願いしたい。
 - ・地域の要支援者が安心して過ごせる支援拠点としての機能を希望します。
2. 高齢者向けの施設の充実
 - ・高齢化が進む地域の実情に合わせ、交流・健康増進・見守り機能を備えた施設の整備を要望します。
3. 子育て支援および子供向け支援の充実
 - ・子育て世帯が安心して利用できるスペース、子供の学び・遊びを支える環境の整備を要望します。
4. 高齢化・要支援者向け福祉、介護、医療、に寄与する体制整備
 - ・地域包括ケアの観点から、福祉・介護・医療が連携できる拠点としての機能を盛り込んでいただきたい。
 - ・災害時の避難支援にも活用できる体制づくりを希望します。
5. コミュニティセンター周辺、隣接する公園や歩道周辺の緑化推進と明るいまちづくり
 - ・周辺の緑化整備を進め、地域住民が憩える明るく安全な環境づくりをお願いしたい。
 - ・地域コミュニティの活性化に寄与する景観形成を希望する。

以上のとおり、松葉小学校跡地が地域の多世代が安心して集い、支えあえる拠点として再生されることを強く願っています。
地域の未来を見据えたまちづくりのため、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬具

北竜台学園・松葉コミュニティセンターの地区防災拠点化 および当面の松葉小学校跡地施設利用について

小・中学校統合により防災上の課題が生じることから、松葉小学校跡地活用前までの跡地施設利用および北竜台学園・松葉コミュニティセンターの地区防災拠点化を以下のように要望いたします。

また、松葉地区防災拠点整備を進めていくために、令和8年の早い時期に要望事項についての協議の場を設けていただくよう、お願いいたします。

1. 防災上の課題について

防災課題① 大規模地震発生時の「地区防災拠点」および「一時(いっとき)避難場所」の確保

松葉地区では、大規模地震発生時には住民の多くが在宅避難者となると予想されていること、コミュニティセンターは被災した要配慮者のための福祉避難所として利用することなどから、在宅避難者や要配慮者のための援助要請受付や支援情報・物資提供の拠点として、更には自主防災会役員・ボランティアの活動の拠点として、小学校に代わる「地区防災拠点」の確保が必要となっています。

また、逃げ遅れを防ぐため、地震による火災発生時には自主防災会毎に「一時避難場所」に集合し点呼をとってから避難所へ移動することを推奨していますが、保健所移転や小・中学校統合などによりスペース不足が予想されており、松葉地区の6自主防災会のための「一時避難場所」のスペース確保が必要となっています。

防災課題② 小・中学校統合後の「地区避難所」の指定

小・中学校統合により北竜台学園を地区避難所として長山地区と共同利用することが予想されますが、長山地区と運営体制などを協議し整備する必要もあり、早期に地区避難所として指定し利用できる施設・設備等を具体的にすることが必要となっています。

松葉コミュニティセンターを核とした活動拠点の拡充 および当面の松葉小学校跡地施設利用について

松葉地区では、高齢化が進み住民同士による支えあい・助けあいの大切さを実感することが多くなっていますが、その前提となる自治会や住民グループによる活動が縮小しており、地区と自治会が活動の活性化に取り組んでいます。

この状況下にあって、今回の小・中学校統合では、交流・協働活動のための“場所”の確保が課題となっていることから、以下の松葉コミュニティセンターを核とした活動拠点の整備と松葉小学校跡地活用前までの跡地施設利用について要望し、あわせて協議の場を設けていただくよう、お願いいたします。

1. 課題について

●自治会や住民グループの活動拠点の確保

松葉地区6自治会の構成は200～400世帯となっており、全員が参加できる会場がないことが課題となります。このことは、小学校の跡地活用が進み松葉コミュニティセンターが拡充された後には、会議室だけではなく屋外イベントのスペース確保も課題となります。

また、活動拠点の確保とあわせて、高齢者に限らず子育て世代の活動も考慮した環境整備も課題となってきます。

2. 要望として

①自治会・住民グループの活動(公的組織・事業者との共同事業を含む)の“場所”として、松葉コミュニティセンターと周辺の公園・緑地帯などの拡充

- ・大会議室・厨房など1階スペースの拡充、屋外イベントスペースと周辺の児童公園・緑地帯の拡充と環境整備、高齢者に限らず子育て世代の活動も考慮したバリアフリー化と設備の拡充があがっています

②跡地活用開始前までの松葉小学校跡地施設の利用

- ・利用期間を限定し、自治会・住民グループの活動や公的組織・事業者との共同事業の“場所”として、跡地の体育館・家庭科・図工室・教室・駐車場などの利用があがっています

③「元気館まつば」の活動継続

- ・「元気館まつば」については、小学校閉校後も跡地活用前までは施設利用ができること、「元気館まつば」を含めた複合型公共施設とする場合には、自治会や住民グループなども利用することから、大会議室とともに小・中会議室の増設が必要となることがあがっています

松葉小学校 PTA からの提言

目次

- 1 提言（松葉小学校跡地活用策）
 - 1-1 提言の基本方針
 - 1-2 基本認識
 - 1-3 跡地活用に望まれる視点（3 つ）と空間イメージ／機能
- 2 ②主な検討事項に対する PTA 意見
 - a) 現役世代・子育て世代など、若い人達が住みたくなるまちとなるために
 - b) 私達が“住み続けたいまち”となるために
- 3 整備・運営にあたっての配慮事項

1 提言（松葉小学校跡地活用策）

1-1 提言の基本方針

松葉地区は現役・子育て世代の流出と高齢化が進み、人口減に伴う市財政悪化が課題である。一方で住宅街としての可能性は残る。学校統合で松葉小は閉校予定、敷地の一部に保健所新築予定もあり、周辺機能更新と一体で跡地活用を検討する必要がある。このような課題と可能性を踏まえ、松葉地区が「住みたくなるまち」「住み続けたいまち」となるための取組を PTA として提案する。具体的には、小学校跡地・松葉コミュニティセンター活用、公園等のハード面の取組に加え、生活・福祉・子育てなどのソフト面の取組み含め PTA として意見を提出する。

1-2 基本認識

松葉地区では、跡地・周辺が一定の資産価値を持つ可能性が示唆されており、公共施設を単独で増やすよりも、**民間・商業による開発をベースにしつつ住民ニーズを組み込む方が、持続可能性の観点から現実的**と考える。

また、「審議 1_松葉小学校跡地活用の基礎資料」に示されているとおり、校舎改修・解体、コミュニティセンター新築等には多額の費用が見込まれる。したがって、初期整備だけでなく将来維持管理・運営までを見据え、「将来世代の負担を抑える運営・財政スキーム（民間活力の活用を含む）」を前提に検討を深めるべきである。

さらに、市のサウンディング型市場調査は、用途を限定せず、建物活用の有無や売買・賃貸借も問わず提案を募る設計となっている。よって、**民間活力の導入可能性と事業成立性（運営・資金計画等）を把握したうえで議論を深める**ことが適切である。

なお、住民アンケート等は回答者属性に偏りが生じる可能性があるため、集計結果のみを「地域の総意」として固定化せず、今後のまちづくりの鍵を握る若年層・子育て世帯のニーズが埋没しないよう配慮が必要である。具体的には、保護者意見として挙がっている**学習環境（自習・読書）、小児医療を含む生活圏内の安心、放課後の居場所等**のニーズを組み込むことが望ましい。加えて、松葉小

学校跡地では保健所の新築が予定されていることから、周辺機能の更新も見据え、移動や用事を集約しやすい立地特性を活かした**多機能集約型拠点**を目指してほしい。

1-3 PTAとして提案したい跡地活用に望まれる視点（3つ）と空間イメージ／機能

視点①「日常の集いと教育・医療の安心」

空間イメージ：買い物や通院のついでに気軽に立ち寄れて、くつろげ、開かれた「日常の拠点」、子育て世帯が、日常生活圏内で「医療の安心」を感じられる場

望まれる空間・機能：

- ・徒歩・自転車で行ける範囲に、日常的に立ち寄れる居場所（子ども・若者・親が「目的がなくても寄れる」）
- ・学力向上以前に、学習できる「環境そのもの」が不足しているため、学び・読書・自習など日々の生活を支える機能（小学生～高校生までの利用を想定）
- ・小中高生が放課後に安心して過ごせる子供中心の自習・交流スペース
- ・子育て世代の“相談・つながり”を支える機能
- ・市内の小児医療の継続性に不安があるとの声を踏まえ、安心して子育てできる医療基盤（相談・受診につながる仕組み）を生活圏内で確保できること

〈PTA 役員会にて挙げられた意見（例として留める）〉

図書・読書エリア/自習・ワークスペース（会員制）/子育て支援スペース/中高生世代の居場所/カフェ/小児専門クリニック（病児保育も対応可能）

視点②若年層の呼び込みと「移住のゲートウェイ」

空間イメージ：20代・若年世帯が「まずここに住んでみよう」と思える居住環境

望まれる空間・機能：

- ・若者・子育て世代向けの賃貸住宅等を整備し、お試し居住の入口とする
- ・お試し居住から周辺の既存住宅ストック（空き家等）への定住につながる導線（相談・情報提供等）を整える

〈PTA 役員会にて挙げられた意見（例として留める）〉

良質な1～2LDK程度の狭い賃貸住宅/シェアハウス

視点③収益性と質を両立する「遊びの拠点」

空間イメージ：天候に左右されず、管理が行き届いた安全な遊び場、自然と調和し、酷暑や雨天でも子供たちが身体を動かせる場

望まれる空間・機能：

- ・民間運営による会員制（サブスク型）屋内遊び場（収益を清掃・防犯・設備更新に充てることで行政コストに頼らず高品質な環境を維持するような仕組み）

- ・子供だけでも放課後・休日に利用しやすい安全性
- ・みどり豊かで、暑熱・天候不良時でも子供が過ごしやすい屋外＋屋内のつながり（散策、ベンチ、日陰有り）
- ・有料・無料ゾーンや地域住民向けの価格設定など、収益と住民還元のバランスを図る工夫

〈PTA 役員会にて挙げられた意見（例として留める）〉

会員制遊び場/スケートボード・ダンス練習場/芝生広場/水遊び場/公園との一体利用/地域のお祭り

2 ②主な検討事項に対する PTA 意見

PTA としては、移住促進を「住宅整備」だけで捉えず、子育ての日常（放課後の居場所・学習環境・屋内遊び/運動・見守り・医療の安心）が生活圏内で成立することを前提に、跡地活用の提案条件としたい。

a) 現役世代・子育て世代など、若い人達が住みたくなるまちとなるために

- ・移住促進を単なる「住宅分譲」で終わらせず、跡地の一部に「仮住まい賃貸」を導入し、移住の入り口を作ることを提案する。
- ・仮住まい期間中に、近隣住宅ストック（空き家等）へ円滑に移行できる相談・情報提供の仕組みを併せて検討したい
- ・サブ等の周辺施設と連携し、車がなくても「仕事・育児・買い物」が徒歩圏内で成立する」という、20 代が重視する生活利便性を強調したい。
- ・女性活躍とは、単なる就労支援ではなく、保護者が安心して社会参画できるよう、生活線上に「子供の居場所」と「医療の安心」が確保されている状態を考えている。親が安心して子供を預けられる、あるいは子供が自立して学習・活動できる「安全な居場所」が、生活導線上にあることこそが、保護者のキャリア継続を支える実効性のある「女性活躍支援」であると考えている。

b) 私達が“住み続けたいまち”となるために

- ・コミセンの位置づけ：会議室中心ではなく、生活・福祉・子育ての**支援拠点**として拡充すべきである。特に、見守りがある放課後の居場所や、夜間まで利用できる学習環境の整備は、定住を維持するための重要な条件である。

3 整備・運営にあたっての配慮事項

新施設の整備にあたっては、新たな施設が担う役割・機能を整理したうえで、緑豊かな松葉地区やサブラ等の商業地区からの導線、人の流れを踏まえ、松葉地区のまちづくりと調和した計画となることを望む。加えて、松葉小学校敷地内で保健所の新築が予定されていること、近接する松葉コミュニティセンターおよび松葉第三児童公園を一体で再整備する検討が進められていること、校舎内で市が運営している元気サロン松葉館の取り扱いなど、本敷地は周辺機能と一体での検討が前提となるため、跡地単体では

なく、歩行者・子どもの導線を含めて敷地全体を一つの「多機能キャンパス」として捉え、全体最適の観点で計画・運営方針を検討していただきたい。

そのうえで、サブラ等の既存商業地区からの人の流れを跡地へ引き込み、周辺の既存住宅ストック（空き家等）への移住・定住へ繋がるよう、本拠点が松葉地区全体の価値向上に波及する仕組みの構築を求める。

今後とも、次世代を担う子供たちや若年層・子育て世帯が「選ぶ」に値する松葉地区の未来を形にするため、民間活力を含めた実現性の高い手法により、実行性のある計画・運営が進むことを強く期待する。

守谷市放課後子ども総合プラン事業案内(児童クラブ・放課後子ども教室)

事業名（担当課）	実施場所	実 施 内 容	申 込 方 法																																							
児童クラブ （保護者が就労等により 昼間留守家庭となる市内在住または 市立小学校に通学する児童） （生涯学習課） ☎45-1111 内線273・274 ※平日8:30～17:15のみ	市内各小学校 （専用施設あり） ≪土曜日開所施設≫ ・守谷小学校児童クラブ （守谷小・郷州小・高野小児童） ・黒内小学校児童クラブ （黒内小・松ヶ丘小・大野小児童） ・松前台小学校児童クラブ （松前台小・御所ヶ丘小・大井沢小児童）	【内 容】 放課後や長期休業期間中にお子さんを預かり、安全な時間と場所を確保し、児童の健全な育成を図ります。 【開 所 日】 月曜日から金曜日、土曜日、学校休業日（春・夏・冬休み等） 【閉 所 日】 日曜日、祝日、8月13日～16日、年末年始（12月29日～1月3日） 【開所時間】 授業終了後から午後7時まで / 土曜日・学校休業日 午前7時30分から午後7時まで 【延長保育】 午後7時から午後7時15分 / 午前7時から午前7時30分（各時間帯利用につき100円 / 回） 【費 用】 ◆ 保育料（日割りなし） ※夏休みに児童クラブを休所する場合、前月15日までに休所届を提出すると規定の額に減額されます。 <table><tr><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>月～金 利用</td><td>4,500</td><td>3,500</td><td>3,500</td><td>5,000 （休所： 2,500）</td><td>5,000 （休所： 1,000）</td><td>3,500</td><td>3,500</td><td>3,500</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>3,500</td><td>4,500</td></tr><tr><td>月～土 利用</td><td>5,500</td><td>4,500</td><td>4,500</td><td>6,000 （休所： 3,500）</td><td>6,000 （休所： 1,500）</td><td>4,500</td><td>4,500</td><td>4,500</td><td>5,000</td><td>5,000</td><td>4,500</td><td>5,500</td></tr></table> ◆ 活動費 月2,500円程度（金額は各クラブ保護者会によって決定します） 【注意事項】 ・送迎は、保護者又はお迎え者登録している大人の方。 ・長期休業期間のみの利用申込も可能です。		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月～金 利用	4,500	3,500	3,500	5,000 （休所： 2,500）	5,000 （休所： 1,000）	3,500	3,500	3,500	4,000	4,000	3,500	4,500	月～土 利用	5,500	4,500	4,500	6,000 （休所： 3,500）	6,000 （休所： 1,500）	4,500	4,500	4,500	5,000	5,000	4,500	5,500	【提出書類】 ① 入所申込書 一式 ② 就労証明書 （週3日以上かつ1日4時間以上勤務） 又は産休・疾病等申告書 ◆ 児童クラブ申込書は10月から配布 ◆ 申込期間は11月4日～28日までの平日（市役所2階 生涯学習課にて受付） ⇒ 11月23日（日）は9時～正午のみ市役所1階大会議室 にて受付。 ◆ 10月10日号の「広報もりや」に掲載予定。 * 市HPは10月1日（水）までに公開予定。
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
月～金 利用	4,500	3,500	3,500	5,000 （休所： 2,500）	5,000 （休所： 1,000）	3,500	3,500	3,500	4,000	4,000	3,500	4,500																														
月～土 利用	5,500	4,500	4,500	6,000 （休所： 3,500）	6,000 （休所： 1,500）	4,500	4,500	4,500	5,000	5,000	4,500	5,500																														
放課後子ども教室 （市立小学校に通学する児童） （生涯学習課） ☎45-1111 内線273・274 ※平日8:30～17:15のみ	市内各小学校 家庭科室、図工室 校庭、体育館 等	【内 容】 放課後子ども総合プランのスタッフと、地域のボランティアの方々で協力して、 子どもたちの安全な居場所を確保しながら、様々な場を提供します。 【実 施 日】 月曜日から金曜日で授業がある日（長期休業期間や始業式、終業式の日には実施しません。） ※新1年生は、5月最初の平日から参加予定です。 【開所時間】 授業終了後から午後4時20分まで 【費 用】 ◆ 参加費 月2,000円（7月・8月はあわせて2,000円） 【注意事項】 送迎は、保護者又はお迎え者登録している大人の方。	【申請方法】 ・参加申込書一式を提出 ・守谷市電子申請フォームから申請 ◆ 申込期間は11月4日～28日までの平日（市役所2階 生涯学習課にて受付） ⇒ 11月23日（日）は9時～正午のみ市役所1階大会議室 にて受付。 ◆ 10月10日号の「広報もりや」に掲載予定。 * 市HPは10月1日（水）までに公開予定。																																							

※特定地域選択制度利用者（松並青葉地区）で御所ヶ丘小学校または郷州小学校に通学する場合、放課後子ども教室参加費は免除になります（傷害保険料は免除になりません。）。

保険の加入について（ 児童クラブ ・ 放課後子ども教室 共通 ）			
【保険について】入所にあたり市指定保険の加入が必要です。			
【保 険 料】800円（児童1人あたり年間掛金） ※児童クラブ（放課後子ども教室）利用有無に関わらず返金なし。			
【補 償 内 容】			
〔死亡〕	3,000万円	〔賠償責任保険支払限度額〕	対人・対物賠償合算1事故5億円。ただし、対人賠償は1人1億円
〔後遺障害（最高）〕	4,500万円	〔突然死葬祭費用保険支払限度額〕	180万円
〔入院日額（180日程度）〕	4,000円		
〔通院日額（30日程度）〕	1,500円		



第3次学校教育改革プラン 守谷型GIGAスクール構想

GIGA School of Moriya City "smartmoriya.com"

GIGAスクール・スマートもりや

これからの未来を創る子供を育てる 守谷型EdTech (MORI・TECH)

プログラミング的思考力の育成



守谷市では、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的思考力である「プログラミング的思考力」を育成しています。小中の学びのつながりや教科間の連携を図ったカリキュラム・マネジメントにより、体系的なプログラミング教育を推進しています。

学びを深めるオンライン合同授業



学びを深めるために、守谷市ではテレビ会議システムを活用した交流活動を推進しています。地域について調べたことを学校間で交流したり、海外の児童生徒と交流したりすることで、自分の考えを深めるオンライン合同授業を進めています。

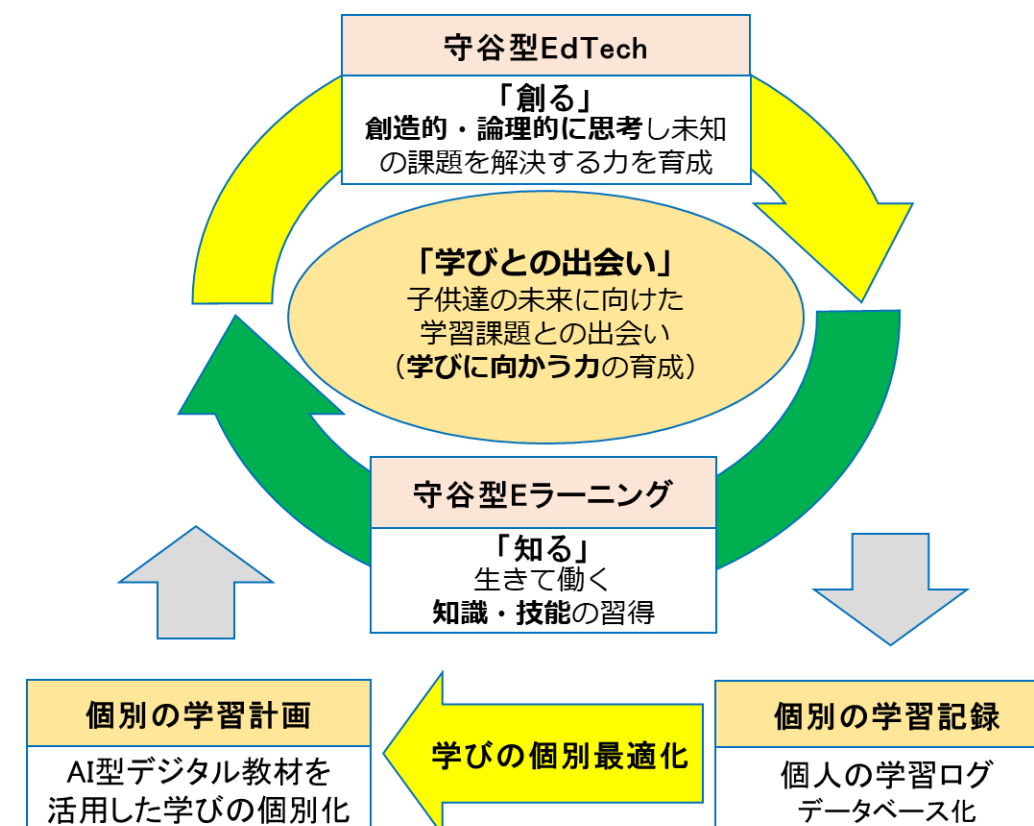
オンラインによる学校と家庭の連携



守谷市では、確かな学力を育成するためのオンラインデジタル教材を活用しています。オンラインによる自宅での学びを可能とし、児童生徒の学習状況を学校と保護者が共有できます。また臨時休校の際にはテレビ会議システムを活用したオンライン授業を実施します。

学校と家庭をつなぐテレビ会議システム

長期休業期間中の児童生徒の生活リズムや学習の相談に対応するため、テレビ会議システムを活用したオンライン登校日を実施します。また様々な理由で登校できない児童生徒をサポートします。



GIGAスクール構想に基づく新しい学習基盤づくり

○児童生徒一人1台のタブレット端末の整備
・長期休業期間中の持ち帰りを想定
○全教室の大型電子黒板(70インチ)の整備

○高速通信ネットワークの環境整備
・5Gに向けた校内無線LANの再整備
・体育館の無線LAN整備

○オンライン授業実施のための環境整備
・貸出用Wifiルーターの準備
・児童生徒一人1アカウントの割当て

○教職員指導体制の整備
・中学校区1名のICT支援員の配置(計4名)



学びの個別最適化を図る 守谷型Eラーニング

○大型電子黒板、デジタル教科書の活用

守谷市では、従来の黒板と電子黒板を組み合わせることで、学習内容の理解を深めています。またコンテンツが豊富なデジタル教科書を活用することで、学びへの意欲を高めています。



○ICT機器を活用した思考の共有、比較検討

児童生徒の学びは対話を通して深まります。タブレット端末や電子黒板といったICT機器を活用することで、思考の共有化、比較検討をしていきます。



○一人一人の学びに応じた学習の実現

学習のまとめではタブレット端末を活用して、学習内容の定着を確認します。定着状況に応じて、一人ひとりに合った問題が出題されますので、苦手やつまずきを解消することができます。



学習内容の
定着状況確認



演習結果に応じて
課題を自動構成

学びの
個別最適化



個の苦手やつまずきを
補充

目標をもった
自主的な学習



インターネットを介して
自宅で学習

オンラインクラスルームの構築

インターネット上にクラスを作り、課題や宿題を提示したり、保護者への連絡をしたりすることで、ペーパーレス化を図っています。



Plan 1 プログラミング教育を推進します。

Web 会議システムを積極的に活用します。

- 小学校 1・2 年生 【楽しむ】
プログラミング体験を楽しむ活動を通して、順序よく考える力を身に付けていきます。
- 小学校 3・4 年生 【気づく】
身近な問題の解決に対してプログラミングが便利であることに気づく力を身に付けます。
- 小学校 5・6 年生 【つくる】
身近な問題に対して、自らの力で解決するプログラムをつくる力を身に付けます。



Plan 2 一人一台のマイ・タブレットを貸与します。

一人一台のタブレットが学びを変えます。

- 一人 1 台のタブレットの貸与
自宅でのオンライン学習を実現します。
- 守谷型 E ラーニングの実施
守谷型 E ラーニングで、学びの個別最適化を図るオンラインデジタル教材を活用します。
- オンデマンド授業による学習支援
いばらきオンライン・スタディ等を活用したオンデマンド授業による学習支援



Plan 3 オンライン・スタディで教育の幅を広げます。

Web 会議システムを積極的活用します。

WEB 会議システムを活用し、様々な学びに出会うことで、幅広い教育につなげます。

- 中学校区オンラインきらめきフォーラム
- 中学校区オンライン・イングリッシュデー
- 夏季休業期間中におけるオンライン登校日
- 学習相談会の実施
- テレビ会議システムを活用した休校期間中や療養中の学習支援



Plan 4 オンライン・クラスでもっと便利になります。

GSuite クラブルームで情報を共有します。

インターネット上にクラスを作り、課題や宿題、各種文書を保護者へ連絡することで、ペーパーレス化を図ります。

- 連絡帳、各種文書のデジタル化
- オンライン上でのアンケート実施
- 緊急時の連絡配信
- 臨時休校等における課題の提示



守谷型GIGAスクール構想 smartmoriya.com とは。

守谷市では、国のGIGAスクール構想を受けて、守谷型GIGAスクール構想「GIGAスクール・スマート守谷」を推進します。一人1台のタブレット端末を活用したオンラインデジタル教材による学びの個別最適化を図ることで、学校のみならず自宅でのオンライン学習が可能になります。またプログラミング教育を中核とした守谷型 EdTech (MORI・TECH) を推進することで、より創造的・論理的に思考し、未知の課題を解決できる力を児童生徒が身に付けることができるようにします。



これからの
未来を創る
子供のために。

守谷市の英語教育・グローバル教育の具体的施策

「どこでも」 Anywhere

教室以外でも英語に触れることができる環境づくり

1校1ALTの配置（全19名） 【H12年度～】

”Good Morning”から”See You Tomorrow”まで

- 大規模小学校2校、中学校4校に、2名ずつのALTを配置しています。
- 英語ネイティブティチャーとの会話を通じて、英語力やコミュニケーション力を育みます。
- 異文化のALTとのコミュニケーションを通して、グローバルな視点を養います。
- 小学校のすべての英語の授業に、ALTが参加します。
- 学校生活、行事等に参加するALTと交流し、全体を通して英語に触れる機会を増やします。

オンライン英語交流学习 【小小連携、小中連携学習】

- 中学校区内の他の学校のALTへ自分の考えや気持ちを伝えます。
- 小学生同士、小学生と中学生が英語で発表したりやり取りしたりします。
- 休み時間に、ALTと他校の児童生徒が英語で交流します。

English Day, English Salon 等 の設定

- 週に1日、English Dayを設定し、児童生徒も教員も1日英語で会話をします。
・朝の会や帰りの会を英語で実施。（中学校）・給食のメニューを英語で紹介。（小学校）
- 放課後にEnglish Salonを開設し、ALTとフリートークをする。（中学校）等

ALTによる動画配信

- 家庭でも英語に触れることができるよう、ALTによる動画を配信しています。
【動画例】・ALTの自己紹介 ・各校の教員や場所の紹介 ・アルファベットの学習
・授業の復習 ・教科書にはない便利な英語表現 等



「だれとでも」 With Anyone

学校以外でも英語に親しむことができる機会の提供

守谷ライオンズクラブ杯 イングリッシュ・フォーラム

英語で個性あふれる考えや気持ちを発信し合います。

小学校5年生、6年生の18名、中学校1年生、2年生の20名を対象に、2月中旬の土曜日の午前中に実施します。小学生がスピーチ、プレゼンテーション発表後、ALTと対話。中学生は、対話型プレゼンテーション、グループプレゼンテーション後、相手の学校と即興でやり取りをします。

イングリッシュ・キャンプ

グローバルな感覚を英語でみがきます。

小学校5年生から中学校1年生（約60名/回）を対象に、夏季休業中及び10月末頃の年2回実施予定。・「サバイバル・イングリッシュ」（英会話練習）やCLIL（内容言語統合型学習）クッキング、マンガ作成、実験 等、1日をALTと一緒に英語だけで過ごします。

ALTとあそぼう・話そう

19人のALTとコミュニケーションの楽しさを味わいます。

小学1・2年生と小学3・4年生を対象に、原則第1土曜日の午前中（各グループ 年間4回）身体を動かしながら、ALTとゲームや会話によるコミュニケーション活動を行います。

英語検定受検料補助事業 【R2年度 予算：3,330千円】

児童生徒の英語力と学習意欲の向上と本市の外国語教育に係る施策の成果検証の指標

守谷市に住所を有する小中学生を対象に、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検）の受検者に対し、予算の範囲内において、年1回受検料の半額を補助しています。

姉妹都市交流～カード交流・海外研修～、絵本読み聞かせ

マインブルク市（ドイツ連邦共和国・バイエルン州）グリーリー市（アメリカ合衆国・コロラド州）

カード交流（小学校）：小学校3・5年生を対象に、季節のあいさつや日本の紹介を行います。

青少年海外研修：市内中・高校生役10名を対象に、夏休み中約1週間ホームステイを行います。

守谷市中央図書館との連携：幼児とその保護者と小学校低学年児童を対象に、年に数回実施します。



守谷市の英検取得率（中学校卒業段階）			
	H29	H30	R01
全 国	22.0%	23.9%	25.1%
茨城県	25.9%	27.9%	29.4%
守谷市	46.7%	51.0%	55.5%



守谷の英語・グローバル教育
English and Global Education of MORIYA City



「いつでも」「どこでも」「だれとでも」
生きた英語に触れ、英語で楽しむ守谷の教育
Anytime Anywhere With Anyone
Grow and Transform Yourself through Real English.



守谷市教育委員会

〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1 電話：0297-45-1111（代表）
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisetsu/g_sisetu/gyousei/kyouiku/index.html



英語で発信し合える児童生徒の育成を目指して。

English and Global Education of MORIYA City

No.1

守谷市の英語教育・グローバル教育の具体的施策



「いつでも」 Anytime

小中学校9年間を通した英語教育カリキュラム

- 教育課程特例校（小学1年生から週1時間の英語の授業を実施）
- フォニックスやプロジェクト・アクティビティ（自己表現活動）の位置付け
- ALTと行う教員校内研修，外国語教育推進委員会の実施
- 英語ネイティブティーチャーによるハイブリッド（ALT・オンライン英会話）授業の導入

「どこでも」 Anywhere

教室以外でも英語に触れることができる環境づくり

- 全19名のALTを配置
 - ・1学校につき1名のALTを終日配置，大規模小学校及び全中学校に2名のALTを配置
- オンライン英語交流学习（小中連携、小中連携学習）
- English Dayや English Salon等の設定
- ALTが作成した動画の配信
- 学校と家庭の学びを一体化（一人一台タブレット：iPad）

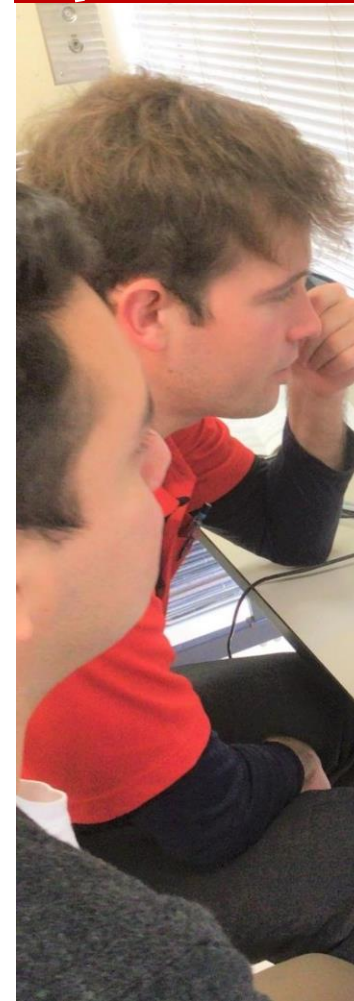
「だれとでも」 With Anyone

学校以外でも英語に親しむことができる機会の提供

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| ■ イングリッシュ・フォーラム | ■ イングリッシュ・キャンプ | ■ ALTとあそぼう・話そう |
| ■ 英語検定受験料補助事業 | ■ 海外姉妹都市交流 | ■ 英語絵本の読み聞かせ |

No.2

守谷市の英語教育・グローバル教育の基本的な考え方



外国語教育の背景

- 学習指導要領改訂：小学校中学年外国語活動，高学年外国語科の新設
- 第3期教育振興基本計画（2018～2022年）
 - ・中学校卒業段階での英検3級程度（CEFR A1）以上取得
 - または，相当の英語力を有する中学生の割合50%を目標
- 全国的な英語4技能の学力検査H30，いばらき教育プラン H28～R2年度
 - ・英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合60%を目標
- 大学入試改革：大学入学共通テストにおける民間の英語資格・検定試験の推奨実施

守谷市の取組と方向性

- 小学校1年生から英語の授業を実施（H23年度～）
- 中学校卒業段階の英検3級程度【CEFR A1】以上（R元年度）
 - ・取得した割合： **55.5%** ・相当の英語力を有する割合： **67.9%**
- 全国学習・学力状況調査，英語4技能能力検査（H30年度）全国トップレベル
- ALTの対面授業とオンライン授業の融合（R2～）

目標設定と検証

- 事業評価：教育課程特例校，ALT配置事業（保護者アンケート・児童生徒アンケート・教員アンケート）
- 英語力調査：英検取得状況調査・【県】英検IBA，【国】英語教育実施状況調査
- 指導計画の見直し：CAN-DOリスト，プロジェクト・アクティビティの精査

「いつでも」 Anytime

ハイブリッド（対面・オンライン）授業（R2年度～）

学校では，終日ともに生活しているALTと，家庭ではオンラインで英語ネイティブティーチャーとともに，英語を学習できるハイブリッド授業を導入し，一人一台のタブレットの特徴を生かして，もりやの英語教育の個別最適化学習を行います。



教育課程特例校（H23年度～）

小学1年生から週1回「英語活動」の時間を設定し，ALTによる英語に慣れ親しむ授業を実施しています。

また，守谷市年間指導計画にフォニックスやプロジェクトアクティビティ（自己表現活動）を位置付け英語教育を推進しています。



カリキュラム推進のための

ALTと行う教職員校内研修・推進委員会

小学校の全教職員を対象に指導力・英語力向上を目的とした校内研修をALTと実施（各小学校年1回）しています。

そして，守谷市年間指導計画に基づいた外国語の授業公開と協議を定期的に行い，小中連携による外国語の授業づくり・相互授業参観を行います。



小中学校9年間を見通した英語教育カリキュラム

【守谷市の外国語教育】

3つのコンセプト

- 1 英語があふれる授業
- 2 児童生徒が英語で自己表現している授業
- 3 英語が飛び交う学校

以下当日配付資料

松葉コミュニティセンターを核とした活動拠点の拡充
および当面の松葉小学校跡地施設利用について

松葉地区では、高齢化が進み住民同士による支えあい・助けあいの大切さを実感することが多くなっていますが、その前提となる自治会や住民グループによる活動が縮小しており、地区と自治会が活動の活性化に取り組んでいます。

この状況下にあつて、今回の小・中学校統合では、交流・協働活動のための“場所”の確保が課題となっていることから、以下の松葉コミュニティセンターを核とした活動拠点の整備と松葉小学校跡地活用前までの跡地施設利用について要望し、あわせて協議の場を設けていただくよう、お願いいたします。

1. 課題について

●自治会や住民グループの活動拠点の確保

松葉地区6自治会の構成は200～400世帯となっており、全員が参加できる会場がないことが課題となります。このことは、小学校の跡地活用が進み松葉コミュニティセンターが拡充された後には、会議室だけではなく屋外イベントのスペース確保も課題となります。

また、活動拠点の確保とあわせて、高齢者に限らず子育て世代の活動も考慮した環境整備も課題となってきます。

2. 要望として

①自治会・住民グループの活動(公的組織・事業者との共同事業を含む)の“場所”として、松葉コミュニティセンターと周辺の公園・緑地帯などの拡充

・大会議室・厨房など1階スペースの拡充、屋外イベントスペースと周辺の児童公園・緑地帯の拡充と環境整備、高齢者に限らず子育て世代の活動も考慮したバリアフリー化と設備の拡充があがっています

②跡地活用開始前までの松葉小学校跡地施設の利用

・利用期間を限定し、自治会・住民グループの活動や公的組織・事業者との共同事業の“場所”として、跡地の体育館・家庭科・図工室・教室・駐車場などの利用があがっています

③「元気館まつば」の活動継続

・「元気館まつば」については、小学校閉校後も跡地活用前までは施設利用ができること、「元気館まつば」を含めた複合型公共施設とする場合には、自治会や住民グループなども利用することから、大会議室とともに小・中会議室の増設が必要となることがあがっています

2. 要望事項について

要望事項① 「地区防災拠点」および「一時避難場所」として跡地施設を利用すること

小学校跡地活用前までの期間、災害時の「地区防災拠点」および「一時避難場所」として小学校跡地の体育館・教室・他の施設を利用することを認めていただくようお願いいたします。

要望事項② 松葉コミュニティセンターを拡充し、災害時の「地区防災拠点」および「一時避難場所」として利用すること

松葉コミュニティセンターについて、災害時の飲料水・電源の確保のための設備および会議室などのスペースを拡充していただくことと、災害時には「地区防災拠点」および「一時避難場所」として利用することを認めていただくようお願いいたします。

要望事項③ 北竜台学園を「地区避難所」として指定すること

「地区避難所」の共同利用について長山地区と協議し整備していくために、早期に北竜台学園を「地区避難所」として指定し、利用できる施設・設備等を具体的に示していただくようお願いいたします。

【小・中学校統合後の松葉地区防災拠点(案)】

地区防災拠点	コミュニティセンター拡充前	コミュニティセンター拡充後
地区避難所 (被災者対象)	北竜台学園 (体育館・教室・校庭・他)	
福祉避難所 (被災者対象)	松葉コミュニティセンター	松葉コミュニティセンター (駐車場などの敷地を含む)
在宅避難者 支援拠点	松葉小学校跡地施設 (体育館・教室・他)	
地震発生時 一時避難場所	注)跡地活用前の期間	

松葉小跡地活用に関する要望の説明

廃校跡地は「広い敷地」「既存建物」「地域の記憶」という強みがあるので、高齢者・子育て世代・地域コミュニティをつなぐ拠点として再生しやすい場所であることから、効果的な有効活用を検討する。

1. 高齢化に対応する施設・機能

①健康維持・介護予防の機能を持つ空間

- ・障害を持つ方・要支援者も利用できる施設
- ・リハビリ室・軽運動スペース
- ・健康チェックコーナー（血圧、体組成測定と巡回健康相談）

②社会参加を促す施設・設備

- ・多目的ホール（サークル活動・講座・趣味教室）
- ・カフェコーナー・ランチスペースをもうけ、参加者同士が楽しめる場所・設備

③安心して利用できる環境施設・機能

- ・バリアフリー化
- ・安全見守りシステム（センサー機能＋スタッフ常駐）
- ・地域包括センターによる安全のための支援が必要（施設全体を管轄する）

2. 子育ての観点からの必要な施設・内容

①子育て支援施設・環境

- ・親子広場
- ・学童広場

②子供の成長を支える環境・機能

- ・体育館の利用・校庭の利用
- ・図書スペース（学習支援・読み聞かせ会）

③子育て相談窓口（専門スタッフ巡回）

- ・親の負担軽減
- ・親同士の交流の場（カフェ利用可）

3. 緑化・環境整備・小学校のレガシースペース

- ・コミュニティセンター駐車場と隣接公園を合体し、高齢者の運動と子供の遊びを両立できる健康スペース施設の公園に（高齢者と子育て世代のヒアリングにて）
- ・小学校校庭東の桜並木（現存 10 本以上）に遊歩道ガーデン化し（花壇・菜園化で地域住民との共同管理）その遊歩道に小学校のレガシーなる卒業記念品及び古代住居遺跡等を移設、
- ・小学校とコミセン間の歩道を遊歩道ガーデン化し、桜並木遊歩道と連結する
- ・花壇・菜園のボランティア活動は高齢者と小学生コラボで休日の体験活動を試みる。
- ・松葉コミュニティセンターと隣接公園周辺の緑化整備し、花壇・菜園で街並み全体が明るく、住みやすい住環境を地域住民とともに共同管理する。

令和8年(2026年)1月10日

龍ヶ崎市総務部管財課御中

龍ヶ崎市松葉6丁目自治会
会長 金久 博忠

松葉小学校跡地活用に関する要望書

拝啓、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より地域活動の推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
さて、当自治会区域内に所在する松葉小学校跡地につきまして、地域住民の安全、安心、そして持続可能な地域づくりの観点から、下記の通り施設の再整備、及び再活用について要望申し上げます。

【要望事項】

1. 傷害を持つ方や要支援者も利用できる施設の整備
 - ・バリアフリー化を徹底し、障害の有無にかかわらず誰もが利用できる環境づくりをお願いしたい。
 - ・地域の要支援者が安心して過ごせる支援拠点としての機能を希望します。
2. 高齢者向けの施設の充実
 - ・高齢化が進む地域の実情に合わせ、交流・健康増進・見守り機能を備えた施設の整備を要望します。
3. 子育て支援および子供向け支援の充実
 - ・子育て世帯が安心して利用できるスペース、子供の学び・遊びを支える環境の整備を要望します。
4. 高齢化・要支援者向け福祉、介護、医療、に寄与する体制整備
 - ・地域包括ケアの観点から、福祉・介護・医療が連携できる拠点としての機能を盛り込んでいただきたい。
 - ・災害時の避難支援にも活用できる体制づくりを希望します。
5. コミュニティセンター周辺、隣接する公園や歩道周辺の緑化推進と明るいまちづくり
 - ・周辺の緑化整備を進め、地域住民が憩える明るく安全な環境づくりをお願いしたい。
 - ・地域コミュニティの活性化に寄与する景観形成を希望する。

以上のとおり、松葉小学校跡地が地域の多世代が安心して集い、支えあえる拠点として再生されることを強く願っています。

地域の未来を見据えたまちづくりのため、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬具

- ・松葉小の跡地活用の方向性と災害時に於ける松葉地区住民の避難場所の問題は直接的に関係している。従って、松葉地区住民の避難場所に関する方針を速やかに決定し、できれば、跡地での避難場所確保を優先条件として実現するようにしていただきたい。
- ・松葉小の校舎を残すか壊すかという2者択一では無く、グランド利用者、校舎施設の利用状況や要望を精査し、校舎の一部は壊し、他は残すで行った柔軟性を持たせた方法も検討していただきたい。
- ・2025年10月に実施された「松葉小学校跡地活用住民アンケート調査」では、松葉地区が「さらに住みやすい・住みたくなるまち」となるようというテーマに関し、「高齢者や子供を含む住民が集える場所の提供や子育て支援に役立つもの」を望む声が多かったと思います。計画にあたっては、単なるスペースでは無く、例えば図書室や簡単なカフェ機能等を加味した、子供から高齢者まで楽しく過ごせる空間を提供していただきたい。
また、高齢者対策、子育て世代対策を考えるにあたっては、例えば高齢者対策においては、ケア施設との複合、子育て支援対策については、小児科医院を中心としたクリニックモール、保育所の併設など、ある程度総合的な複合施設の整備を目指していただきたい。
- ・松葉小の跡地計画と松葉コミュニティセンター及び第三公園の再整備計画とは、必ずしもリンクしておらず、場合によっては別々に進められる可能性もあるとのことですが、両計画は密接に関連していると考えられます。従って、松葉小の跡地活用の方向性をなるべく早く示せるようにしていただきたい。
- ・松葉コミュニティセンターと第三公園の再整備に関しては、施設を活動に利用している自治会やグループの関心が高くなっています。この意味で、ある程度計画が進んだ段階で確定した図面を示すのではなく、規模や階数、所要室などの設計と条件の設定や設計の考え方や、基本構想段階でのスケッチ図等を示して住民の意見を聞くようにして欲しい。

1 元気サロン松葉館について

毎年、施設を利用する団体代表者と意見交換を行っており、その中で、今後の松葉館について意見聴取を行っている。

基本的に施設解体の有無を問わず、松葉館としての機能は継続して欲しい。

新設の場合は、現施設より部屋数や面積が大きいなど、機能拡充を図って欲しい。また、松葉館単独の施設ではなく、コミュニティセンターとの複合的な施設の整備なども提案されている。

2 その他

市議会からは、龍ヶ崎地区に整備されている「まいん健康サポートセンター」の分館的な施設を北竜台にも整備して欲しい旨の要望等もいただいている。

跡地活用検討委員会「基本方針と主な検討事項」へのコメント

グリーンハイツ自治会

- 主な検討事項として挙げられている「若い人たちが住みたくなるまち」と「私達が住み続けたいまち」を両立させることは、新規宅地開発が難しく若い人たちの住める住宅を増やし難いことから、現状では極めて困難
- 今後、住民の高齢化がさらに進み空き家が増えていくと、若い人を受け入れる余地は生まれてくるが、少子化により住宅購入層が減少することや利便性の良いエリアが好まれることから、現状の松葉地区が若い人たちにとって住みたいまちになるかは疑問
- 「高齢者が住み続けたいまち」を指向してまちづくりを進めると、高齢者をさらに引き寄せることにつながり、まちの活気を失わせることにもなりかねない
- まちの将来を考えると少しづつでも若い人、特に子育て世代を引き寄せることが重要であり、松葉小跡地やコミセンを再整備する中で、「さんさん館」のような子育て支援施設と「元気サロン松葉館」のような高齢者向け施設を合体させた複合施設を作り、同じ建物の中で高齢者と子育て世代のママさんや小さな子供が日常的に触れあえる環境づくりすることは両者にとって有益と思慮
- 子育て世代はマイカーで移動することが可能なため、松葉地区に住んでいなくても子連れで行ってみようと思う施設が松葉地区にあれば日常的に人は集まり、街に活気をもたらすことにもつながる
- 高齢者と若い世代の交流施設として「子ども食堂」も近年増えつつあり、新しく整備する建物の中に食堂の開設を可能とするスペースを設けてはどうか

以 上

2026年度 松葉小学校区「年代別人口構成」

年齢	0～5	6～11	12～14	15～17	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～104	合計
松葉1	21	36	11	15	12	41	34	36	33	44	65	67	38	31	35	61	153	115	50	11	3	912
	9.1%				5.8%		30.6%						7.6%		10.5%		36.4%					100.0%
松葉2	2	13	5	11	11	36	18	5	6	6	11	43	65	49	30	13	7	4	4	3	0	342
	9.1%				13.7%		26.0%						33.3%		12.6%		5.3%					100.0%
松葉3	8	13	7	8	8	17	8	7	12	26	33	36	27	21	19	49	109	63	27	6	3	507
	7.1%				4.9%		24.1%						9.5%		13.4%		41.0%					100.0%
松葉4	8	9	4	4	6	5	7	10	11	11	23	18	18	15	21	45	81	43	8	3	2	352
	7.1%				3.1%		22.7%						9.4%		18.8%		38.9%					100.0%
松葉5	10	12	15	12	1	19	12	17	23	32	27	38	32	26	36	50	85	59	12	11	3	532
	9.2%				3.8%		28.0%						10.9%		16.2%		32.0%					100.0%
松葉6	7	12	10	18	7	10	13	7	19	29	25	37	29	40	67	117	88	50	16	7	2	610
	7.7%				2.8%		21.3%						11.3%		30.2%		26.7%					100.0%
小柴4(計)	23	40	26	33	21	118	58	45	36	54	78	81	66	63	104	130	129	59	30	15	3	1,212
	10.1%				11.5%		29.0%						10.6%		19.3%		19.5%					100.0%
県営北竜台アパート	2	5	6	10	3	13	10	5	5	8	17	22	19	20	18	25	24	23	12	6	0	253
	9.1%				6.3%		26.5%						15.4%		17.0%		25.7%					100.0%
グリーンハイツ	2	2	1	7	0	8	4	6	11	9	12	15	15	24	55	48	18	10	10	6	0	263
	4.6%				3.0%		21.7%						14.8%		39.2%		16.7%					100.0%
タウンハウス	0	5	2	3	3	4	1	1	6	11	14	11	5	6	14	42	47	13	4	2	3	197
	5.1%				3.6%		22.3%						5.6%		28.4%		35.0%					100.0%
他	19	28	17	13	15	93	43	33	14	26	35	33	27	13	17	15	40	13	4	1	0	499
	15.4%				21.6%		36.9%						8.0%		6.4%		11.6%					100.0%
小柴1	2	5	3	0	2	4	3	2	7	0	7	4	5	5	6	1	2	2	0	0	1	61
	16.4%				9.8%		37.7%						16.4%		11.5%		8.2%					100.0%
合計	81	140	81	101	68	250	153	129	147	202	269	324	280	250	318	466	654	395	147	56	17	4,528
	8.9%				7.0%		27.0%						11.7%		17.3%		28.0%					100.0%

2026度 松葉小学校区「年代別人口構成」

2026.04現在

